



令和元年度 九州体育・保健体育ネットワーク研究会

【宮崎チキン南蛮ラウンド】

令和元年11月16日(土)

会場：宮崎市教育情報研修センター

8年目となる今回は公立・国立の先生方、大学関係者、大学生、指導主事等の参加がありました。佐藤教授より、これからの体育・保健体育の方向性やICT活用による部活動支援プロジェクト等、興味深い話題をご提供いただきました。その後、実践発表2本(質疑応答等)とコンテンツ・マップの作成をしました。

<p align="center">実践発表1</p> <p>主題「新しい時代に求められる資質・能力の育成」 副題～知識構成型ジグソー法の実践に見る対話の力～ 宮崎県教育庁教育政策課 指導主事 津奈木考嗣</p>	<p align="center">実践発表2</p> <p>「資質・能力の育成を目指した 体づくり運動の実践に向けて」 宮崎大学教育学部附属中学校 教諭 倉掛 啓輔</p>

「コンテンツ・マップ」の作成 桐蔭横浜大学 教授 佐藤 豊

体づくり運動、器械運動(マット運動)、球技(ゴール型・ネット型・ベースボール型)の5グループで小中高12年間の授業を通して学ばせたい汎用的能力について、解説を確認しながらグループ協議をしました。
宮崎大学の三輪教授からは「器械運動指導の手引き」P126～をもとに器械運動における系統的な指導についての説明もしていただきました。

小学校段階から高校までの12年間で指導内容がどのように配列されているのか確認することができました。
来年度の九州学体研宮崎大会に向けて、系統的な指導の在り方も踏まえて、研究を深めていきます。

ご参加いただいた方、関係者のみなさま、ありがとうございました。